



KYOTO Gathering for Asian Art Students (アジア美術系大学学生会議) は、東南アジア・東アジアの学生が集まり、アートの世界における相互理解と地域理解を深め、次世代のアーティスト、キュレーターを中心にしたネットワークを強化していくことを目的とした3日間の合宿型イベントです。欧米中心の美術潮流を見直し、グローバルなアート動向、それぞれの研究テーマ、キャリア形成について議論を行い、実践的な学びとつながりを得る機会を提供します。

本会議では、学生同士がビジョンや意見を交換するグループディスカッションのほか、国際的に活躍するアーティストやキュレーターによる講演、京都の文化や歴史を知るエクスカージョンなどが行われます。

開催趣旨

1990年代以降、現代美術はグローバルに拡大し、美術館、芸術祭、アートフェアなどのモデルが各地に創設され、それは目覚ましい経済成長を遂げたアジア地域にも反映されてきました。一方で、近年のパンデミック、不安定な政治経済は新しい世代のクリエイターにとって未来を不透明なものにしてきました。日々夥しい情報がネット上に溢れるなか、「世界とは何か」、「自分たちはどこにいるのか」、というリアリティの想像さえ困難になっていると言えるでしょう。「アジア美術系大学学生会議」は、こうした状況のなかでリアルに次世代を担う人間関係を創出し、未来に向けたビジョンをともに描こうとするものです。

アジア地域は地理的に近く、文化や歴史を色濃く共有しながらも、それぞれ多様な言語、宗教、文化、歴史を持っています。この状況を確認するとともに、欧米中心だった美術の潮流を見直しながら次世代のアーティスト、キュレーターを中心にしたネットワークを強化していくことを目的にしています。芸術系大学の学生が共に関心のある課題について数日間、ともに議論するカンファレンスです。

東南アジア、東アジアを中心とする美術系大学と提携し、学生が世界情勢、グローバルなアートの動向、研究テーマ、キャリア形成など共通の課題についてグループディスカッションを行います。会議には、国際的に活躍するアーティストやキュレーターなどもゲストとして招聘し、議論をプロフェッショナルな世界のリアリティとも繋ぎます。

会議の他に京都の文化や歴史を知るエクスカージョンも実施することで、日本文化を深く学びながら、アジア圏の文化の相互理解に繋がります。

今年のテーマ

「Flipping Point: アジアから見つめ返す世界」

開催日時：2025年11月12日（水）～14日（金）

会場：京都芸術大学

参加者数：国内外から計30名（国内15名、海外15名）

対象者：東南アジア、東アジアの美術系大学に在籍する大学院生、および学部4年生。

＊日本国内からの参加者は、下記キックオフミーティング（ハイブリッド開催）に参加できることが条件です。

キックオフミーティング：2025年8月23日（土）14:00-16:00

（内容）ICA京都所長 片岡真実による事前レクチャー、オリエンテーション

プログラム内容：

・グループディスカッション

2～3日間で、世界的なアート動向、それぞれの研究テーマ、キャリア形成に関するディスカッションを実施。学生同士で意見交換し、将来の方向性を探ります。

・ゲストスピーカーによる基調講演

トーク1) 国際的に活躍するアーティストやキュレーターを招き、キャリア形成や現在のアート界について語っていただきます。

トーク2) 京都の歴史、日本の歴史の断片などについて語っていただきます。

・京都のエクスカーション

京都の歴史や文化を体験するため、グループになってまちを歩きます。

・ネットワーキングセッション

参加者同士やゲストとの交流の場を設け、将来のコラボレーションやネットワーク形成を促進します。

応募方法：応募フォームに必要事項を記入して送信してください。

応募締切：2025年7月28日（月） 選考結果は8月5日（火）に発表します。

参加費用：参加費用は無料です。

国内参加者の方⇒遠隔地にお住まいの方（近畿一円以外の方）は、交通費実費を支給、2泊分の宿泊を提供します。

海外参加者の方⇒お住まいの国の主要空港から関西国際空港または大阪国際空港（伊丹空港）までの往復航空券と4泊分の宿泊を提供します。また、ビザ手続きのサポートを行います。

主催：ICA京都、京都芸術大学大学院

助成：国際交流基金

応募に関するお問い合わせ

info-icakyo@office.kyoto-art.ac.jp 075-791-9167 （担当：清水・金澤）

よくある質問 (FAQ)

Q：どのように応募すればよいですか？

A：応募は指定の応募フォームに必要事項を記入して応募してください。ポートフォリオ、またはこれまでの研究を紹介する資料をアップロードしてください。また、応募時に関心のあるグループディスカッションのトピックを選択してください。

Q：会議に参加するために、特別な準備は必要ですか？

A：会議参加者は、事前に関心のあるグループディスカッションのトピックを選び、簡単な自己紹介や自己の作品について発表できるように準備をお願いいたします。言語は英語です。

Q：ビザの取得手続きはどのように行われますか？

A：ビザはご自身で手続きをし、取得する必要があります。会議の事務局はレターを発行するなど、ビザ取得のためのサポートを行います。

Q：会議期間中に観光は可能ですか？

A：いいえ。会議の期間中には、ディスカッションを中心とする会議のプログラムに参加していただきます。ただし、会議終了後には、自己負担、自己責任にて観光をすることが可能です。

Q：参加者の選考基準は何ですか？

A：参加者の選考は、応募者の関心や学びたいテーマ、アートに対する意欲を重視して行います。また地域的なバランスが考慮されます。

Q：参加者は英語を使うことが求められますか？

A：会議は多国籍の学生が集まるため、英語を共通語として使用します。しかしながら母国語でのコミュニケーションも禁止されてはいません。参加者全員が言語を持ち寄り、相互に助け合うことが期待されます。

Q：会議後に成果物を求められますか？

A：会議後には、グループディスカッションで得た成果や学びを日本語1500字/英語800words程度のレポートとしてまとめていただきます。アーティスト志望の学生はレポート以外のアーティストックなレスポンスを選択することもできます。

Q：エクスカージョンへの参加は必須ですか？

A：エクスカージョンは会議の一部として組み込まれており、参加は必須です。グループで行動します。

Q：会議中の食事は提供されますか？

A：はい。

Q：会議参加後に、参加証や証明書は発行されますか？

A：はい、会議終了後には参加証明書が発行されます。

Q：日本語が話せない場合、どうすればよいですか？

A：日本語が話せなくても問題ありませんが、英語でのコミュニケーションが必須となります。